

## GREEN×EXPO 2027 日本政府苑ウェブサイトを開設しました

農林水産省及び国土交通省は、2027年国際園芸博覧会（横浜グリーンエクスポ）日本政府苑の情報発信を目的として、日本政府苑公式ウェブサイトを公開しました。

### 日本政府苑ウェブサイトについて

農林水産省及び国土交通省は、横浜グリーンエクスポに日本政府苑を出展します。

3月19日、日本政府苑の専用のウェブサイトを公開しました。今後、日本政府苑の内容や協賛募集について情報を発信してまいりますので、ぜひ、日本政府苑ウェブサイトをご覧ください。

日本政府苑は、会場で最大となる2.5ヘクタールの展示であり、和泉川の流頭部という立地条件を踏まえ、自然環境への負荷低減に配慮した庭と展示館から構成されます。「令和日本の庭」は、伝統ある日本庭園文化と技術を踏まえつつ、水循環への配慮や地域の植生の回復などグリーンインフラを実装します。展示館は、流頭部への配慮から東西分棟の高床式木造建築とし、土壁などにより景観に馴染む建築としています。

また展示館では、全国各地で継承されてきた自然と人との営み・共生の姿や、植物・自然と人の関わりが生み出した文化の極みであるいけばな、盆栽等を鑑賞するとともに、みどりがもたらす未来の姿を提示し、社会課題の解決や行動変容の糸口を世界に発信します。

### 2027年国際園芸博覧会の概要

テーマ 「幸せを創る明日の風景」

開催期間 2027年3月19日～2027年9月26日

開催場所 神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)

会場面積 約100ヘクタール

クラス A1(国際園芸家協会(AIPH)承認・博覧会国際事務局(BIE)認定の最上位クラス)

公式ホームページはこちらから

[2027年国際園芸博覧会 公式ウェブサイト](#)

### 日本政府苑協賛の募集を開始しております

～日本政府苑の魅力とともに高める協賛を募集～

国土交通省及び農林水産省は、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会を事務局として、令和7年12月25日(木)からGREEN×EXPO 2027における日本政府苑(日本政府による屋内・屋外出展)の魅力と共に高める協賛を募集しています。

#### 【協賛の方法】

1. 資金提供 — 日本政府苑の魅力向上に資する資金の提供
2. 物品提供 — 日本政府苑で必要とする物品等現物の無償提供
3. 役務提供 — 日本政府苑で必要とする技術やサービス、人員等の無償提供
4. 無償貸与 — 日本政府苑で必要とする施設や物品等を協賛者所有のまま無償貸与

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

<https://expo2027-japan.go.jp/>

## 横瀬町において、ワインの原料となるぶどうの栽培に取り組む 「ワイナリーPassion」の島田美沙さんを紹介します。

横瀬町在住の島田さんは、横瀬町でぶどうの生産およびワイナリーの運営に取り組む就農5年目の新規就農者です。

島田さんは、長野県塩尻市でワイン醸造やぶどう栽培を学びながら、令和2年にワイナリー運営を目指して横瀬町の地域おこし協力隊として都内から移住しました。

平成29年から5年間、塩尻ワイン大学での研修や管理圃場での実地経験を積み、後半の2年間は横瀬町から長野県へ通いながら研鑽を重ねていたそうです。

当時、横瀬町では着任後に自ら活動内容を企画できるフリーミッション型の地域おこし協力隊を募集していました。島田さんはその制度に挑戦し、ワイナリー設立に向けた具体的な活動をスタートさせました。

横瀬町では約5,000㎡の耕作放棄地を借り受け（うち約3,000㎡はその後購入）、ワイン用ぶどうを定植しています。品種は試行錯誤を経て、現在は4品種（赤ワイン用：メルロー、ピノ・ノワール／白ワイン用：甲斐ブラン、シャルドネ）を栽培しています。

令和5年4月には東京都品川区で国税庁の果実酒製造免許を取得。続いて令和6年9月には横瀬町でも同免許を取得し、「ワイナリーPassion」を開業しました。就農およびワイナリー開業にあたっては、自己資金に加え、日本政策金融公庫および飯能信用金庫からの融資を受けたとのこと。

「ワイナリーPassion」は創業初年度にして、国際的なワインコンクール「サクラアワード2025」で2銘柄が金賞を受賞。また、アジア最大級のワイン審査会「ジャパン・ワイン・チャレンジ2025」では銅賞を受賞しています。



ぶどうの笠かけ作業

農作業および醸造作業は、島田さんとインターン1名（塩尻ワイン大学の後輩で、現在は横瀬町の地域おこし協力隊として活動中）で行っています。さらに週に一度、知人が作業を手伝っているとのこと。

将来的には栽培面積の拡大も視野に入っていますが、現状では自園の収穫量のみでは醸造原料が十分ではないため、一部を長野県および山梨県の生産者から仕入れているとのこと。今後は横瀬町内の生産者との信頼関係を築き、原料をすべて地元産へと移行していきたいと話されています。

島田さんと「ワイナリーPassion」の挑戦は、秩父地域のぶどうと人々の情熱が交差する“新時代の農産物ブランド”への挑戦です。地産地消を推進し、伝統と革新を融合させる取り組みは、秩父地域の土地の魅力をワインで表現し、観光資源や地場製品の価値向上にもつながっています。



ワイナリー Passion の 島田 美沙さん